

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 風のふく丘

目標達成計画書

作成日: 平成 28 年 2 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町村との連携	行政機関と連携を図り市の行事や研修会に積極的に出席し、知識の習得だけでなく、情報交換して協力関係を構築し、ホームの存在感をアピールしていく。	行政と事業所、地域住民が協力し、認知症カフェや徘徊模擬訓練を実施し、介護相談や独居老人の安否確認等と合わせ、地域全体で高齢者が安心して暮らせる街づくりを目指していく。	12ヶ月
2	5	職員を育てる取り組み	管理者を中心にチームワークの取れた介護に取り組んでいるが、これからのグループホームとして、充実した介護を実践するために、若手の職員の介護技術の向上と、意識の高揚を目指していく。	開設14年目を迎え、その時代に合わせたグループホームを目指し、他事業所の管理者や職員との相互交流を図り、地域のグループホーム間の協力体制を構築し、職員の意識改革と介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。